



2種類の木製ガードレールを設置する会員ら
＝郡山町の現地で

木製ガードレール製作研究会は1月31日、日置郡郡山町の林道山ノ口線第4回の研究会を実施し、これまで検討・研究してきた2タイプの木製ガードレールを試験設置した。

同研究会は、伐採木などの木材利用の普及促進を図ろうと、県林業振興課をはじめ、県伊集院農林事務所森林土木課や県工業技術センター木材工業部、県森林組合連合会木材加工部、山佐木材(株)建設事業部、岩崎産業(株)木材建設工業部で昨年7

今後とも衝撃試験等継続

月に設立し、木材ガードレールの可能性について検討・研究を行ってきた。今回、研究を重ねてきた集成材タイプと丸棒タイプの2種類の木製ガードレールを製作し、通常ではガードレールの設置基準に適合しない安全な場所に試験的に設置。

木材の普及促進と自然景観との調和を大切にしたいものの、今後の課題として車が衝撃した際の強度を確認するために実車による衝撃試験や不朽等の経年変化の調査、従来のガードレールよりも



鮎川利朗新会長

県推進工事協会(鮎川利朗会長代行)は1月31日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で第8回通常総会を開き、技術向上へ向けた技術講習会等への参加や防災防止の現場パトロール実施などを柱とする15年度事業計画を決めたほか、役員改選で新会長に鮎川氏(鮎川建設)を選出した。

総会では、議長に鮎川会長代行を選出し議事に入り、14年度事業経過・決算、15年度事業計画・

木製ガードレール製作研究

約3倍もの費用がかかるためコスト削減に向けた研究が必要だという。

県伊集院土木事務所の堂込清文森林土木課長は「採用されるまでにはクリアしなければならぬ課題が多い。継続して試験を行うとともに、設置例を増やして自然環境下における研究を続けていきたい」と語った。

なお、集成材タイプは(L2m×W15cm×T35cm)でNZN加工注入した防腐防蟻処理とニューボンデン2回塗り(丸棒タイプは(L2m×直径18cm×2本)でタナリスCYの防腐防蟻処理とノンロット2回塗りを施してある。

県推進工事協会総会

新会長に鮎川氏



15年度事業計画等を決めた総会
＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

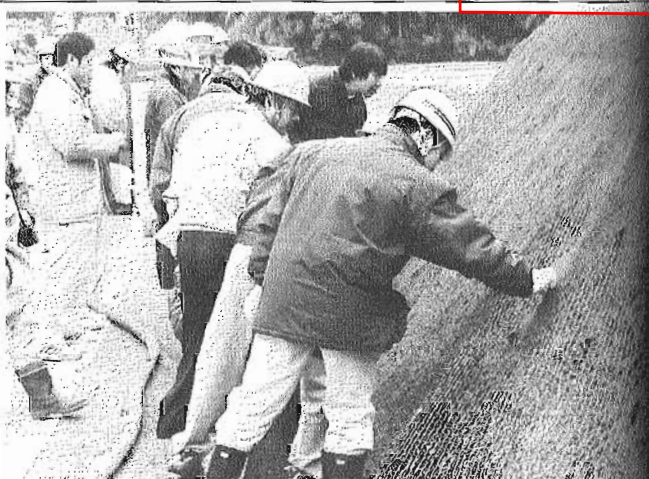
県緑化資源リサイクル協会 植物系法面の緑化に活用

廃棄物系法面の緑化に活用

県緑化資源リサイクル協会(谷口勇三会長)は1月31日、始良郡栗野町の川井田地区において、植物系発生材をチップ化して現地での堆肥化を図り、法面緑化工の基盤材として吹き付ける「植物系発生材吹付け」について試験施工を実施し、会員をはじめ近隣の県出先事務所や市町から関係者が多数参加して、自然環境に配慮した先進技術について

法についての説明を受けた後、2次破砕機で細かく砕かれた伐採根や刈り草を実際に手に取ってみたり、ラス金網に吹き付けの様子をカメラに収めたり、吹き付けられた基盤材を手で触れる姿が見られ、「コスト的にはどうなのか」「現地で植物発生材が大量に発生しなかった場合はどうするのか」などと質問するなど、関心の高さが伺えた。

同工法は、現場で発生する伐採根や刈り草などを植物系系発生材をチップ化し、堆肥化発酵促進剤「アクセルコンボ」や発酵助剤の「アシストコンボ」、「カロリーコンボ」を使用して発酵時間を短縮し、法面緑化工の基盤材として即吹付けを行うもので、侵食防止剤を配合しているためラス金網も不要となり、用土入りの基盤材・肥料も配合できると早期の発芽・生育が可能だという。



吹き付けられた基盤材に実際に触れて確認する参加者ら＝栗野町の現地で

谷口会長は「発注機関の方々に実際に目で見、手に触れてもらい、率直な感想が聞けたのはなにより。今後も試験施工や追跡調査を行って信頼度を高めていきたい」と抱負を語った。

お手軽で便利な
購読料のお支払い
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

県大規模小売店舗立地審

マイコープ出水など審議

県大規模小売店舗立地審議会(宮廻南允会長)は1月31日、鹿児島市の県庁で第16回の会合を開き、答申案10件、継続審議6件の審議をした。

審議会は、宮廻会長

を座長に審議に移りマイコープ出水、同加治木店、同新上橋店、同西陵店、同東市来店、同知覧店、同えい店、同サンキュー新栄店、同和店、同くらし館西原店など10件の答申案の検討を行い、閉会時間や営業時間の変更などを審議した。

また、継続審議ではスーパーハルタ始良店・ファッションセンターしまむら始良店、タヨー喜入店、サンキュー単入店、西鹿児島駅東口10番街区市街地再開発ビル、生活協同組合コープかごしま田上店・コープメディアウン出水などについて話し合われた。うち、



慎重に審議した会合＝鹿児島市の県庁で

生活協同組合コープかごしま田上店・コープメディア田上店は店舗の新設し、薬局や100円ショップなども併設することに伴う審議等がなされた。

安心システムで21世紀の響生を追求する
(株)南栄技研

鹿児島市中山町1406-1	(099)260-6100
鹿児島市西光寺前田118-10	(099)43-2972
鹿児島市高城町1688	(099)27-1996
鹿児島市東原3172-6	(099)40-9360
鹿児島市高田町大字花見字橋山1720-18	(099)30-9680
八代市上片町1351-1	(096)35-4878
都城市都北町7411	(0986)38-6120
東臼杵町門川大字加草字深迫616-1	(0982)63-5458
鹿児島市東区木町電甲字西池上2074	(096)273-3666

“真心とほほ笑みと”をモットーに心より御奉仕致します。
南日本家具工芸株式会社

婚礼家具、造作家具、増改築、ジュータン
カーテン、他、家具総合卸

TEL (099)269-7111
FAX (099)268-0385
鹿児島市東開町13-30



明日に 駆ける

(株)萩原技研
設計部主任

山本 亜由美さん

平成7年に入社以来、主に土木構造物の設計を手掛け、現場での調査・測量段階から精力的に

的に取り組む。「携わったものが形になる」とは嬉しいもの」と語る一方、「仕事の量に流されたくない」と多忙な日々にもかかわらず技術レベルを落とさないよう気を引き締めている。

だが最近、限られた短い工期で良い成果品を出すためには勉強時間を削らなければならない

技術レベルの持続に努力

現在、1級土木施工管理技士や第2種下水道技術検定の資格を有するが、「目標は技術士」と高い目標を掲げ、家庭と両立させながら時間を削っては勉強

を作り上げなければならぬという責任感の重さに押し潰されそうになるという。そのような様子を、上司の上船隆登総務課長は「壁を乗り越え一皮むければ更なる戦力として活躍が期待できる」と温かく見守る。

南鹿児島建設業協組
合(迫田高廣理事長)は
30、31日の2日間、赤十字血液センターの協力を
得て、鹿児島市の同組合

南鹿児島建設業協組

初の献血活動を実施



早く献血に応じる会員
＝鹿児島市の同組合駐車場で

駐車場での献血活動は、冬の血液不足解消に愛の

献血を行った。献血活動は、ボランティア活動の一環として行ってきた奉仕作業から今回から切り替えられた初の試みで、事務局側も事前から全50社に呼び掛け、参加協力を要請してきた。初日は、早朝から各社の従業員らが次々と駆け付け、問診、診察を済ませた後、愛の献血を行った。助け合いの精神のもと、献血に参加した富田茂常務理事は「我々にとっては忙しい時期でもあるが、冬の血液不足はもっと深刻な問題。今後も組合をあげて協力していきたい」と話した。

県推進工事協会(小牧孝会長)は30日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で第7回通常総会を開き、技術向上に向けた講習会参加や防災防止の現場パトロール実施などを柱とする14年度事業計画を満

場一致で決定したほか、任期満了に伴う役員改選では小牧会長ら全役員を留任とした。

総会では、初めに小牧会長が「構造改革や景気低迷により工事物件が減少、受注・価格競争が激化している。しかしながら、このような時こそ、我々は経営と技術の向上に努めていかねばならない。会員の相互扶助の精神に基づき、一層の団結と協調をもって今年を乗り切る」と挨拶。

新役員は次の通り。
会長＝小牧孝(小牧建設)
副会長＝鮎川利朗(鮎川建設)
理事＝森山睦夫(森山土木)、中野穰(中野建設)、幸加木輝征(こうかき建設)
監事＝川畑俊彦(南生建設)、諏訪園隆(坂本建設)

県推進工事協会総会

一層の団結と協調を

鹿児島県推進工事協会 第7回通常総会



技術の向上に努めよう——と挨拶する小牧会長
＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

新年度事業計画は、①推進工事に関する知識及び技術の向上を図るため、技術講習会等へ積極的に参加②会員の推進工事現場をパトロールし、施工上の安全、防災の防止を図る③県下発注機関に推進工事発注の積極的な陳情活動を展開——などを掲げている。



やるべき事や学ぶべき事を一致協力しよう——と挨拶する鎌田会長＝国分市の建設会館で

固定概念捨てて行動を

国分市建設業同志会館(鎌田善政会長、80社)は30日、国分市の建設会館で無災害で乗り切る事を

物故者への黙とうの後、会員及び発注者の代表が玉くしを捧げ、無事故無災害を祈願した。

出席式では、まず鎌田会長が「本日は大手ゼネコンやISO取得企業の現場をパトロールする。先行きの見通しは知れないが、被害を最小限に止めるためにも大声でアピールし、やるべき事をやり、学ぶべき事は学び、協力して行動しよう」と挨拶。続いて発注者を代表して塩屋園哲国分市役所の公表や前払い金増額など、発注側としても努力しているところだ。年度末最後の追込みに入ったが、今後も事故発生のないよう努力され、立派な仕事で完成することを確信している」と励ました。

全構協がHPを開設

全国鉄構工業協会(全構協、橋本誠会長)は、協会活動PRの一環としてホームページを開設した。全構協では、「随時内容を更新し、内容の充実を図るとともに、構成員と双方方向に意見を交換する場としても活用していきたい」と話している。ホームページの内容は、①全構協の概要②事業紹介③お知らせ④ピックアップ⑤受信コーナーのほか、リンク集を設けている。

トピックスでは、最新情報として先に開かれた「建築鋼材品質証明方式の説明会」や、現在検討を進めている「告示1416号検討委員会」などを紹介している。

リンク集では、団体正会員でHPを開設している10団体や、全構協青年部会連絡協議会などのほか、経済産業省、国土交通省、情報誌・紙に接続できるようにしている。HPのアドレスは、<http://www.jsia.or.jp>。

“真心とほほ笑みと”をモットーに心より御奉仕致します。

南日本家具工芸株式会社

婚礼家具、造作家具、増改築、ジュタンカーテン、他、家具総合卸

鹿児島市東開町13-30

TEL (099)269-7111
FAX (099)268-0385



ゴルフ会員権と株券・即現金

相場80% 融資OK
商業手形割引

貸金業登録第00077号
(社) 鹿児島県貸金業協会第85号
鹿児島市下荒田4-8-16 ☎(099)252-2525